

## シラバスの作成に係る取組の概要

- 1、9月に次年度の指導方針を決定。
- 2、12月に各学科の振返り、次年度に向けた目標到達点や授業内容、成績評価の方法や基準の再見直し。  
年間スケジュール決定。
- 3、1月、次年度科目決定。
- 4、2月、時間割・シラバス決定。
- 5、3月、HP公表。

## 授業科目の学修成果の評価に係る概要

成績評価は原則として各科目別で行われ、前期後期の各学期末に評価を行う。

a、成績評価は平素の授業態度、確認テスト、出席率、課題提出状況、科目修了時の考査等資料にて行う。

b、算出方法は以下のとおり

- ①A B C D Fの5段階とする。
- ②各学期末に試験、レポート、課題提出等で評価する。

c、評価基準は以下のとおり

A：秀（100～80） B：悠（79～70） C：良（69～60）  
D：可（追試験・認定試験合格） F：不可（59～0）→追試験

考査基準：

各学期末に、各科目出席率を集計し、出席率が80%以上でない者および通常提出課題が100%満たされていないものは対象にならない。従って、学期末受験はできない。得点いかんに関わらずF評価となり、追試験を受験しなければならない。（F評価の場合、追試験に合格すればD評価になる）

## 成績評価の客観的な指標

客観的な指標の設定には、「A評価」から「F評価」に、それぞれ所定のポイントを掛けた合計点を総科目数で割りスコアを算出し、そのスコアをもって成績分布を算出する。

$$(A \text{ 評価} \times 6 P \times \text{科目数}) + (B \text{ 評価} \times 4 P \times \text{科目数}) + (C \text{ 評価} \times 2 P \times \text{科目数}) + (D \text{ 評価} \times 0 P \times \text{科目数}) \times (F \text{ 評価} \times -2 P \times \text{科目数}) \div \text{総科目数} = \text{スコア}$$

## 卒業認定基準

卒業基準は以下のとおり

- a、出席率が各科目年間授業数の80%以上になること
- b、科目の評価全て「D」以上であること
- c、課外活動、行事参加を7回以上行うこと
- e、該当年次の学費および諸費用を完納すること